



片柳中学校だよ

# 片柳

第1号 令和8年4月8日発行  
さいたま市立片柳中学校  
さいたま市見沼区大字御蔵551  
TEL048-683-3173

<学校教育目標> 夢をはぐくむ学校 ○自ら学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○心身を鍛える生徒

## 挑戦と成長

校長 佐久間 貴宏

「最後まで力を100%出しきれなかったのがすごく悔しいんですけど。でも、これだけ悔しい思いをしても銀メダルを獲れたことが、今までの頑張りが実ったのかなって思います。」

これは、ミラノ・コルティナオリンピックで銀メダルを獲得した、フィギュアスケートの坂本花織選手の言葉です。世界の大舞台で結果を残しながらも、なお悔しさを語るその姿に、私たちは大きな感動と驚きをもらいました。

坂本選手の言葉から感じるのは、「結果」だけではなく、その過程で積み重ねてきた努力や挑戦の重みです。坂本選手は、ミラノ・コルティナオリンピックに向かう過程で、より高みを目指し、4回転ジャンプという高難度の技にも挑戦してきました。しかし、その過程で足首を痛め、思うようにジャンプが跳べなくなる時期を経験しています。何度も試行錯誤を重ねながら、「できること」「今の自分にできる最善」を問い直し、完成度で勝負する道へと方向転換しました。高い目標を掲げ、簡単ではない道に挑み続けてきたからこそ、「悔しい」という思いが生まれ、その悔しさをも乗り越える力が育っていったのだと思います。世界の舞台で語られたあの悔しさは、挫折を経験しながらも挑戦をやめなかった証であり、歩みを止めなかった者だけが得られる成長の実感なのではないでしょうか。

新入生の皆さん、そして保護者の皆さま。また、在校生の皆さんにもお伝えします。学校生活において大切にしてほしいことのひとつが、「夢」や「目標」をもつことです。目標は、今の自分と、なりたい自分をつなぐ道しるべです。そして、目標を実現するためには、自らを成長させようとする意志が欠かせません。

成長の秘訣は、特別な才能ではなく、継続です。思うようにいかない日があったり、失敗して落ち込んだりすることもあるでしょう。しかし、その一つ一つが、確実に自分を高めています。坂本選手が語る「悔しさ」は、努力を重ね、挑戦し続けた証にほかなりません。

学校は、一人一人が自らを高め、成長していくための「場」です。学習や行事、部活動、友との関わりの中で、日々を愉快地に過ごす楽しさもたくさんあります。しかし、真の楽しさとは、目標に向かって粘り強く取り組み、昨日より少し成長した自分を実感できたときにこそ生まれるのではないでしょうか。変化を恐れず、挑戦を重ねる中で、人は大きく育っていきます。学校は、その挑戦を支え、失敗も含めて受け止める場所でありたいと考えています。

新たな一歩を踏み出した皆さんが、自分自身の可能性を信じ、成長を実感できる一年となるよう、教職員一同、全力で支えてまいります。共に学び、共に成長していきましょう。

学校教育目標  
目指す生徒像

「夢をはぐくむ学校」

- ・自ら学ぶ生徒
- ・心豊かな生徒
- ・心身を鍛える生徒